

5年研究授業の成果と課題

①資料の効果的な活用のための工夫（考えをもたせる手立て）

成果

- ・アとイの資料の読み取りが調べる活動のために適切だった。
- ・ICTを使っでの資料提示がよかった。
- ・イの資料は学習問題につなげるいい資料となった。

課題

- ・資料が児童の手元にあるとよい。
- ・イの資料にプラスして、台風や雪などについて考えさせる資料があってもよかった。（その後の予想の根拠とさせるために）

②課題設定、活動に興味、関心をもたせるための工夫（主体的な学びにつなげる手立て）

成果

- ・3人組で学習問題につながる話し合い活動を入れたことによって、疑問に対する視野が広がった。支援の手立てにもなった。
- ・学習問題を児童からの疑問や認識のズレ・驚きなどから作り上げていくことは、この小単元においては適切であった。

課題

- ・「気候」という言葉をつかって、学習問題につながる疑問を出させるとよかった。
- ・学習問題に対する予想の根拠となる資料がなかった。それについて調べたいという資料を提示しながら、考える時間を確保できるとよかった。

③児童の変容・教員の指導の工夫（事後研究）

児童

- ・資料をから必要な情報を読み取ろうとする意欲が高まった。
- ・課題に解決に必要な情報を読み取ることで、自分の考えの根拠になることに気が付く児童が増えた。

教員

- ・学習課題が児童にとって身近に関心が高まるように、資料を吟味し、提示方法や精選することを続けている。
- ・グラフや表、写真などから社会的事象が読み取れるように、資料から分かることを自分の言葉でまとめさせている。



社会的事象を読み取るためのワークシートの工夫

③ 自動車はどのような地域でつくられているのかさぐる。

資料から読み取れること・・・

- ① ふきゅう率
- ② 生産台数

どこでつくられている？

① () 市が中心

② () が